

平成30年度 指定管理業務 評価票

石川河川公園	【指定管理者】 都市公園石川河川公園指定管理共同体	【指定期間】平成30年 4月 1日～平成35年 3月31日	【所管課】 富田林土木事務所 都市みどり課
--------	---------------------------	-------------------------------	--------------------------

評価項目	評価基準 (内容)	指定管理者の自己評価		施設所管課の評価		【石川河川公園】 評価委員会の指摘・提言
		評価 (S～C)	評価 (S～C)	評価 (S～C)	評価 (S～C)	
I 提案の履行状況に関する項目						
(1) 施設の設置目的及び管理方針	管理に関する基本的な考え方に沿った管理運営が出来たか。	<p>【実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎人々のつながり(ライン)を生み出すための3つの管理目標を「eライン」として管理運営を行った。 ①「e-cologyライン【自然環境を大切にするつながりをつくる。】 ●魚とりの自然観察会を川で8回、池で3回行い、石川の自然環境の魅力を伝えることができた。 ●川での環境教育を充実させるために、石川の調査を行った。また、出前授業は、計画段階ではあるが、幼稚園への出前授業を1件行い、来年、再来年への準備を進めた。 ②「hom-eライン【風土性を感じるつながりをつくる】 ●石川流域の関係団体が連携し、公園を核として地域の歴史・文化的遺産等の観光資源をつなぎ活性化へ寄与することを目的とする「地域とつながり・成長する」協議会について、9、10回目を開催した。管理事務所は協議会事務局として、地元市や観光協会等が行うイベントの情報誌を季節に合わせて発行した。 ③「e-njoyライン【楽しめるつながりをつくる】 ●パークゴルフの月例コンペを7回行い、165名の参加があった。 ●駒ヶ谷の遠足などで71団体 5052名を受け入れた。 ●8/18・19に南河内の自然を楽しむことをコンセプトにした「石川にぎわい祭り」を行い、チェーンソーアートやマルシェなどを行った。500名参加。 <p>【自己評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●指定管理者として1年目であり、組織の立上げに苦勞することもあったが、当初打ち出していた3つの管理目標について、とりわけ自然環境については、うまくいっていると感じている。 ●来年度以降も、引き続き、自然環境に力を入れていきたい。 ●風土性のところで挙げた「協議会」であるが、流域の市町村や団体をつないで、イベントの情報誌の発行以外、何か実行できているかという点、厳しい。これからの発展ができるのかどうか課題である。 ●楽しむというところで挙げたパークゴルフであるが、年々利用者、売り上げが減少している。利用者拡大へ向けての活動が求められる。 	A	<p>実施計画書・公園管理要領に定める内容に沿って適切に実施できている。</p> <p>○施設の設置目的に即した管理を実施している。</p> <p>○パークゴルフの月例コンペについて、天候等の許す限り積極的に実施している点は評価できる。</p>	A	<p>事業実施計画書・公園管理要領等に沿った適正な管理がなされている。</p> <p>パークゴルフの月例コンペなどの活性化方策は評価できる。</p> <p>引き続き、適切な維持管理・運営管理に努められたい。</p>
(2) 平等な利用を図るための具体的手法・効果	平等利用に努めたか。	<p>【実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●行為許可・占有許可 特に古市スポーツ広場の適正な受付を行っております。26件の申し込みがありました。 駒ヶ谷園内についても、南大阪祭りが開催されたり、自然ゾーンB・駒ヶ谷園内で羽曳野市制60周年記念映像の撮影が行われたり、新たな取り組みができました。10・11・12月マラソン大会(小学校・市民マラソン等)10件の申し込みがありました。 ●個人情報の取り扱いについては、個人情報保護法を遵守し、朝礼・終礼時に、内容の把握と取り扱いの確認をしております。 ●公園HPを開設、6月にはSNSの対応を始めました。多くの方々に公平・平等性のある情報発信を行っております。 ●春・秋の2回アンケート調査を実施しています。計400枚のデータ入力を完了、内容の分析を行い、来園者のニーズの把握に努めております。 ●巡視は、2班体制で1日2回実施しております。遊具点検・園路の確保・移動式トイレ等、利用者目線で安全性を確保し、平等利用の促進をしております。毎月一回の月次遊具点検・9/12には年一回の精密点検を実施しております。 <p>【自己評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●行為許可・占有許可については、適正に受付を行い平等利用に努めることができた。 ●個人情報の取り扱い・情報発信・アンケート・巡視業務についても、平等利用に努め公園利用者に快適に利用していただくことができた。 	A	<p>実施計画書・公園管理要領に定める内容に沿って適切に実施できている。</p> <p>窓口対応については、新しい指定管理者ということもあり、一部不慣れな部分が見受けられたが、適正に処理を行っている。</p>	A	<p>事業実施計画書・公園管理要領等に定める内容を適切に実施できている。</p> <p>新たな指定管理者として不慣れな対応も見られるが、公園の平等利用促進に向けた職員の教育は評価できる。</p> <p>また、パークゴルフ場での催物の開催、木登り・昆虫採集等の各種イベントなどの取り組みや、情報の発信に努めていること点も評価できる。</p> <p>引き続き、幅広い利用者層への情報発信などにより、平等利用の促進に努められたい。</p>

評価項目	評価基準 (内容)	指定管理者の自己評価		施設所管課の評価		【石川河川公園】 評価委員会の指摘・提言
			評価 (S~C)		評価 (S~C)	
(3) 利用者の増加を図るための 具体的手法・効果	公園利用者の利便性の向上がなされたか。(応募時に 提案した利用者増加のための工夫がなされたか、魅力 的なプログラムに取り組んだか。スポーツ施設等の稼働 状況を踏まえた、今後の運営への反映に取り組まれている か。) ※公園を特徴づける有料施設等の稼働率の確認。来園 者数の確認 ※イベント等の実施回数及びイベント等の参加者数の確認	【実績】 ◎来園者数 ●来園者数は4月～11月で14万6879人であった。 ◎利用促進や利用者サービスの向上につながるプログラム・イベント ●第9回・10回「地域とつながり・成長する」協議会を5/16・8/23に開催しております。事業計画の説明を 行い、方向性を確認しました。それに沿った形で、春・夏 秋・冬の2号のかわらばんの作成・発行を行 いました。周辺市町村でのイベントの情報共有と発信を行っております。 ●パークゴルフの月例コンペ 各月の第二火曜日に開催しております。7回開催し、165名が参加されま した。 ●木登り体験は、11/10(土)に開催、小学生7名の参加者がありました。 参加者の声として、子供にとって貴重な体験会とのことでした。今後も体験会を企画したいと考えており ます。 ●リースづくりは、12/1実施予定ですが、既に定員20名の申し込みがありました。 ●保護活動について石川自然クラブとの共催で、毎月一回実施しております。 カヤネズミ保護・ミゾコウジュ自生地の保護・河川敷自然ゾーンの保護活動を実施しています。 ●昆虫採集については、9/9にバッタ採りを大阪自然環境保全協会との共催で実施しており23名の参 加がありました。 ●手作り水族館を7/21～8/4まで開催。60名のボランティアスタッフの協力もあり、591名の参加があり ました。 ◎利便性の向上や情報提供 ●親水スポットについては、川の流れが計画時と変化しており、予定していた場所での実施は困難で す。流域調査を行い、実施に向けて取り組めます。 ●授乳室については、管理事務所内(応接室)に設置することで準備しています。 ●AEDは、巡視車を含めて4台設置。応急手当普及員資格の職員による研修会を暫時行います。 ◎PR方策 ●かわらばん・HPの活用することで、集客アップを狙います。 ◎増収につながるための取組方策 ●パークゴルフ場については、「駐車券で1ラウンド無料」などのキャンペーンは実施済み。その他のもの についても、準備を進めています。 ◎サービスの提供についての新たなアイデア ●自然ゾーンの駐車利用サービスについては、A・Bゾーンについて検討しています。 ●星の広場の平日開放は、今年度中に実施予定。桜堤駐車場も、開放の実現を目指します。 【自己評価】 ●AEDの巡視車両の取付により、園内利用者の緊急時にも対応できるようになった。利用者の安全・ 安心につながった。 ●イベントについては、多く集まってもらったものもあるが、参加が少ないものもあった。より多くの人に 参加していただくための広報の大切さを感じました。	A	実施計画書・公園管理要領に定め る内容に沿って適切に実施でき ている。 ○地域とつながり成長する協議会 を開催し、かわらばんを作成発行し ているのは評価できる。 ○パークゴルフ場での催物の開 催、木登り・昆虫採集等の各種イベ ント、また自然の保護活動について は評価できる。	A	事業実施計画書・公園管理要 領等に定める内容を適切に実 施できている。 木登り体験会での小学生への 貴重な体験の提供や、ボラン ティアと協力の下での手作り水 族館の開催している点、地域と つながり成長する協議会を開 催し、かわらばんを作成発行し ている点などは評価できる。 引き続き、地域住民との協力の 下、幅広い利用者の利便性向 上に努められたい。
	収益事業の実施状況。(応募時に提案した収益事業に 取り組んでいるか、また、その実施状況について確認。) (※ Aグループのみ、Bグループも実績があれば記載 可)	【実績】 ◎パークゴルフ団体利用 ●HPなどを通じて利用を募る予定にしております。現在までの利用はありません。 ◎レンタル自転車(電動) ●11月に購入しております。自転車保険の方針が決まり次第、実施予定 【自己評価】 ●現時点で、両方とも、収入はありません。12月中には、レンタル自転車は実施予定。パークゴルフの団体利用 については、今年度中には、広報を始めます。	B	事業実施計画書に記載してあ る、パークゴルフ団体利用・レン タル自転車は未実施であり課題 として残る。	B	事業計画書に記載されたパー クゴルフの団体利用やレンタル 自転車の実施が実現されてお らず、来年度の実現を期待した い。
	トラブルの未然防止や、発生した際の処理方針、今後の 管理への反映がなされたか。(接遇等の職員研修の実 施状況、苦情件数や対応処置の記録についての確認。)	【実績】 ◎トラブル(事故・事件等)や苦情が発生した場合の処理 ●3年、公園内に住んでおられたホームレスについては、6月に本人と話をした後、関係機関に適切に連絡を 行った。その結果、大阪府・羽曳野市・羽曳野警察の協力により、ホームレスが施設へ入居された。 ●台風21号後による被災後、園内閉鎖時の来園者への説明に不備があり、ご指摘をいただいた。再発防止のた め、職員の接遇改善のための研修を実施した。 ●上記のような、利用者目線での対応を職員に促すための研修を12月中には実施します。 【自己評価】 ●3年続いていたホームレスが施設へ入居できるようになったのは、当団体と大阪府、羽曳野市、警察の協力が上手く いったことである。素直に評価したい。 ●台風21号による被災後、多くの要望を頂いたが、迅速に対応できた。	A	実施計画書・公園管理要領に定 める内容に沿って適切に実施で きている。 ○ホームレスに接触し、関係機 関と連携して退去、施設へ入居 まで至ったことは評価できる。	A	ホームレスへの対応として、良 好な関係を築き、関係機関と連 携して退去、施設への入居に 導いたことは評価できる。 引き続き、トラブルの未然防 止、適正な対処に努められたい。

評価項目	評価基準 (内容)	指定管理者の自己評価		施設所管課の評価		【石川河川公園】 評価委員会の指摘・提言
			評価 (S~C)		評価 (S~C)	
	草地管理、芝生地管理、樹木管理、花壇管理について、良好な管理を行ったか。(頻度・時期および技術について確認。将来も含めた植物の育成が図られているかの確認。利用や景観への配慮がなされているかの確認。)	<p>【実績】</p> <p>1.草地管理</p> <p>1)自然ゾーンを除く各広場</p> <ul style="list-style-type: none"> ●エリア別に予定の進捗で除草しております。 <p>2)自然ゾーン</p> <ul style="list-style-type: none"> ●「石川河川公園希少生物保護管理マニュアル」に沿って自然ゾーンAのオギ周辺の除草・千早つどの広場の除草のさいには、グリーンベルトを残して生き物にとって住みやすい環境を作り出しています。 <p>2.樹林管理</p> <ul style="list-style-type: none"> ●9/4の台風により被害を受けた倒木・折れ枝等(公園内で約90本強)の伐採処理は、10/25に概ね完了。園路の確保を行い、利用者に安心して来園戴ける様最優先課題として取り組みました。 <p>3.草花管理</p> <ul style="list-style-type: none"> ●駒ヶ谷園内の花壇に関しては、5月・10月に植え付けを完了しました。 ●あすか花回廊については、6月コスモス9月菜の花の耕運・肥料・播種を実施しています。 ◆主要植物管理計画(あすか花回廊)について ●秋の七草の播種については、31年2月に予定しています。 ●万葉季節の花のエリアには、10月に菜の花とレンゲの播種を完了してます。 ●万葉花木見本園は、31年3月に植え付けを予定しています。 ●万葉有用植物コーナーには、10月にラッキョウの植え付け麦の播種を実施しています。紅花の播種は31年3月に予定しています。 <p>【自己評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●除草については、年度初めに集草が不十分な部分があった。今後はそのようなことがないようにしたい。 ●PL花火までに、観覧する場所については除草を行う。「はびきの夕べ」のイベント前に除草を行うなど、イベントに合わせての除草を行い、利用者の快適性を確保した。 ●昨年の冠水による土砂の堆積で、地面に凹凸があり、除草のしにくい中、出来る限りきれいに仕上げたのは、評価できる。 ●あすか花回廊花壇については、当初計画が遅くなった。しかし、6月下旬から実施し、秋にはコスモスがきれいに咲いた。来年度の計画を早めに立てて、華やかな花壇を維持していきたい。 	A	実施計画書・公園管理要領に定める内容に沿って適切に実施できている。 ○昨年度の台風被害による土砂の堆積による凹凸のある箇所を仕上がりよく除草を行なった。 ○イベント時期に合わせて除草するなど快適に利用できるよう配慮した管理を行なった。 ○除草について、ベンチ周り、階段・スロープの手すり周辺など、追いついていない部分も見られたが、おおむね実施計画通りのスケジュールで実施できていた。	A	事業実施計画書・公園管理要領等に定める内容を適切に実施できている。 河川公園としての草地管理、生息生き物への配慮など状況に応じた対応が行われている点、イベント時期に合わせて除草するなど快適に利用できるよう配慮した管理を行なっている点は評価できる。 引き続き、適切な維持管理に努められたい。
	園内清掃について、良好な管理を行ったか。(頻度・時期および技術について確認。利用や美観への配慮がなされているかの確認。)	<p>【実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●管理マニュアルの清掃図面に記載された標準清掃回数を守って清掃を行いました。 ●便所掃除A(駒ヶ谷の2箇所) 毎日清掃を行なった。(標準は3回) ●便所清掃B(移動式トイレ14基) 週2回の清掃を行なった。1日に7基の清掃を7.5時間で行なった。 ●巡視点検職員による簡易清掃 1日に2回、14基すべてのトイレについて点検し、清掃しました。 ●便所消毒 7月から9月の3か月間は、0-157対策として清掃の都度、消毒を行いました。 ●不法投棄対策 11月までに26件回収しました。 <p>また、園内のバーベキュー利用者による不法投棄の苦情のあった星の広場近くの住宅地については、警察、市役所と協議をして「不法投棄禁止」の掲示をしました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●河川公園の特性を鑑み、公園管理区域外であっても、軽微なゴミについては持ち帰り、処分しました。 ●農業用水の通水機能を維持するために、清掃を行いました。 ●外国人のサッカーの利用時のゴミの放置が、苦情になったが、利用者向けにしおりを作成した。また、利用前に現地打ち合わせを3回ほど、行いました。その結果、ゴミの放置は、現在ほぼ無くなりました。 <p>【自己評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●公園内に放置されたゴミは、すぐに持ち帰っているため、大きな苦情ははっせいしておりません。 ●きれいな公園を維持できているのは、ゴミが少ないことも要因の1つです。ゴミの持ち帰りを呼び掛けたことで、ゴミが少なく公園の美観を保っているとも言えますが、利用者が少ないということも一つの原因であると思えます。 ●利用者が増え、それでもきれいな公園の美観を保つことが、これからの課題であると考えています。 	A	実施計画書・公園管理要領に定める内容に沿って適切に適切に実施できている。 ○外国人利用者向けにしおりを作成し、現地にて打合せを行った結果、ゴミの放置がほぼ無くなったことは評価している。	A	事業実施計画書・公園管理要領等に沿った適正な管理がなされている。 外国人利用者向けにしおりを作成し、現地にて打合せを行った結果、ゴミの放置がほぼ無くなったことなどは評価できる。 引き続き、適切な維持管理に努められたい。
	プールの運営、維持管理について、良好な管理を行ったか。					

評価項目	評価基準 (内容)	指定管理者の自己評価		施設所管課の評価		【石川河川公園】 評価委員会の指摘・提言
		評価 (S~C)		評価 (S~C)		
(4) 施設の維持管理の内容、適格性及び実現の程度	運動施設について、良好な管理を行ったか。(頻度および技術について確認。)	<p>【実績】</p> <p>パークゴルフ場について</p> <p>◎営業時間帯</p> <ul style="list-style-type: none"> ●8/11~17までスタート時間を1時間早めて、利用者の早朝利用を促した。 ●月例コンペは11月までに7回開催し、利用者拡大に努めた。 <p>◎芝生管理</p> <ul style="list-style-type: none"> ●良好な芝生を維持するため、グリーン11回、フェアウェー11回、ラフ7回の機械除草を実施した。 ●5月から機械除草で不十分なグリーン廻り・バンカー等の人力除草を実施した。また、芝生や雑草で覆われていたバンカーを、手入れしほぼ全ての箇所のバンカーの機能を回復させた。 ●良好な芝生を維持するため、夏場の7/25~9/20までに12回灌水作業を実施した。 ●粒状肥料では翌日以降も粒が残ってしまい、利用者のプレーに支障をきたすため、液肥に変更して施肥を行った。 ●受付の整理整頓を行った。長期間使っていない書類、道具などは仕分けをして、別の場所に保管したり、捨てるなどした。受付のスペースが広がり明るくなった。 <p>【自己評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●バンカーの復旧は、利用者大変喜ばれた。 ●早朝利用については、1時間早めたものの、暑く効果はなかった。来年度以降は別の工夫を行いたい。 ●受付の整理整頓して、明るくなったが、施設の老朽化による劣化は否めない。さらなる整理・改修を行い、明るい施設にして、利用者拡大を目指したい。 	A	<p>実施計画書・公園管理要領に定める内容に沿って適切に実施できている。</p> <p>○パークゴルフ場のグリーン廻り・バンカー等に人力除草によって全てのバンカーの機能回復させたことは評価できる。</p>	A	<p>事業実施計画書・公園管理要領に定めた内容に沿って適切に実施できている。</p> <p>バンカー機能の回復、グリーン機械除草の頻度などによりゴルフ場機能が向上した点や、台風21号による被害に対する柔軟な対応などは評価できる。</p> <p>引き続き、適切な維持管理に努められたい。</p>
	特殊庭園について、良好な管理を行ったか。(頻度・時期および技術について確認。将来も含めた植物の育成が図られているかの確認。)					
	重要公園施設について、良好な管理・運営を行ったか。					
	管理対象外施設である海岸管理者との連携や海岸利用者について応募時の提案を実施できたか。					

評価項目	評価基準 (内容)	指定管理者の自己評価	評価	施設所管課の評価	評価	【石川河川公園】 評価委員会の指摘・提言
			(S~C)		(S~C)	
	自然環境の維持創出、自然環境学習の取り組みについて応募時の提案を実施できたか。	<p>【実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●自然ゾーンA地区内のカヤネズミの保護草地域について、クズの侵入からカヤネズミが営巣するオギ群落について保護を目的として石川河川公園希少種保護マニュアルに基づいた除草や巡視車による踏圧を行った。また、カヤネズミが営巣地周辺でイネ科の種子や昆虫類を採餌するための低葎草の維持にも注力。営巣地内についても自然ボランティアによる営巣調査やクズなどの侵入草本の除草やオギ群落の管理を実施。 ●ミゾコウジュの保護のため、自然ボランティアの石川自然クラブと自然ゾーンD地区内生地で生態調査や手入れを実施した。 ●駒ヶ谷地区のミゾコウジュ群落についても他草本の除去や種の採取等を実施、系統保存のためのプランターへの蒔きだしを実施した。 ●カワバタモロコの保護については管理事務所内の水槽で域外保全を継続。夏休みシーズンには「南河内ほわ〜っと流域ネットワーク」の協力を得て、「子供の手作り水族館」を開催し、カワバタモロコの保護活動を周知した。 ●自然保護のための検討会の開催については、自然ゾーン計画・運営協議会へ全面的に協力するとともに、希少種の保護マニュアルなどの内容をふまえた自然保護のための検討会を実施に向けて時期を検討。 ●生き物が自由に移動できるようにするため、生きものの視点から考えた除草計画について自然ゾーンD地区から上流側の千早つどの広場にかけてグリーンベルトとして残すよう除草を実施。 ●自然ゾーンB地区内のワンドの状況調査を実施。実態のわからなくなっていたワンド内の状況確認を行い、カワバタモロコ定着や親水スポット設置に向けての情報収集を実施。また親水スポットとしての活用候補として自然ゾーンDの農業排水路(通称:ミニ石川)についても魚類層の調査を実施。 ●自然環境学習の取り組みについて、小学校への出前授業の前段階として、今年度は幼稚園へ赴いて移動水族館を実施。併せて石川流域で見られるアユの生活史について読み聞かせを実施。 ●希少種をまもる自然ボランティアとしてカヤネズミやミゾコウジュの保護を目的とした月例活動を実施。 ●川での魚とりに通じて自然に親しめる観察会「石川でさかなとりをしよう」を4月から9月の間に7回を実施。合計28組79名の参加があった。 <p>【自己評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●管理事務所での手作り水族館ではカワバタモロコの水槽だけでなく石川流域の様々な生き物を子供たちが水槽の設置や説明板の製作、また撤去作業まで主体となってデザインし展示することで、子供から大人まで幅広く水辺の生き物への興味を持つきっかけづくりを行うことができた。 ●除草の際、園路以外をグリーンベルトとして刈らないことで、生き物の連続性を確保し多様な生態系を維持すること、地域の住民の利便性を両立することができた。 ●移動水族館では低学年の児童でも楽しみながら自然環境に興味を持てるような実際に石川流域の生き物を見て触って感じられる体験型のプログラムを意識して実施することができた。また読み聞かせについても、児童たちが目の前の生き物だけにとどまらず、生きものの住処である石川流域や公園に興味をもってもらうきっかけづくりをすることができた。 ●魚とり観察会は全11回計画のうち、4回が台風や悪天候などの理由で開催できなかった。しかし中止した回にも申込者は多数おり、需要が高いことが裏付けられているため次年度もできるだけ対応していきたい。 ●若い人から高齢者までさまざまな年齢層の方が楽しく意欲的に取り組めるような内容で実施することができた。 	A	<p>実施計画書・公園管理要領に定める内容に沿って適切に実施できている。</p> <p>○出前授業の前段階ではあるが移動水族館・出前水族館を実施し、石川や公園に子供たちの興味を引けるような工夫ができた点は評価できる。</p> <p>○保護すべき植物・動物の保護に配慮した除草等の管理作業が事業計画書通り実施できていた。</p>	A	<p>事業実施計画書・公園管理要領等に沿った適正な管理がなされている。</p> <p>移動水族館・出前水族館を実施し、石川や公園に子供たちの興味を引けるような工夫ができた点、バンカーの復旧に加えて、運動施設の適切な管理を行っている点は評価できる。</p> <p>引き続き、適切な維持管理・運営管理に努められたい。</p>
	利用者の安全確保対策の具体的方策。(日常巡視や定期点検、瑕疵の早期発見、事故の未然防止及び早期対応、衛生管理や防犯対策などが適格に実施できたか。適正なタイミング・手法の補修が実施されたか。予防保全となる対応について確認。)	<p>【実績】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1.事件・事故・苦情等の未然防止 2.巡視の体制と頻度・巡視項目 ●巡視点検業務を2名1班で2班体制を維持し、午前・午後の2回実施。石川河川公園管理マニュアルに則り、巡視項目・ルート・作業内容の確認を独自マニュアル作成し、齟齬のない様に共有。 ●繁忙期対策として、1班増やして3班体制を導入。 3.瑕疵の早期発見 ●所内での勉強会を実施予定。 4.衛生管理 ●計画通りに実施。 5.生活用通路としての園路の防犯対策 ●巡視日報に問題があった箇所を必ず明記し、必要な対策(除草等)を適宜適切に実施。 ●照明点検については毎月一回実施。 6.危険動物の対応 ●報告のあった個所には、看板を設置し利用者に注意喚起を実施。 <p>【自己評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●巡視・点検による問題の未然防止や早期発見早期対処によって、利用者の安全確保を実現。 ●日々の情報の共有については巡視日報をベースに実施。重要な項目については個別に回覧等で共有を徹底。 ●巡視車にAEDを設置し、緊急事態対応の体制を整備できた。 	A	<p>実施計画書・公園管理要領に定める内容に沿って適切に実施できている。</p>	A	<p>事業実施計画書・公園管理要領等に沿った適正な管理がなされている。</p> <p>引き続き、適切な維持管理・運営管理に努められたい。</p>

評価項目	評価基準 (内容)	指定管理者の自己評価	評価 (S~C)	施設所管課の評価	評価 (S~C)	【石川河川公園】 評価委員会の指摘・提言
	危機管理体制。(非常時対応について、訓練や研修を実施したか。)	<p>【実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●地震発生時や気象警報発令などの非常時について、3名以上が参集する体制を計8回整えました。5/7の洪水警報をはじめとして、5/18(洪水警報)・6/18(大阪府北部地震)・7月5日(西日本豪雨)・7月28日(台風12号)・8月23日(台風20号)・9月4日(基大な被害、台風21号)・9月30日(台風24号)。 ●移動式トイレの引き上げ・再設置を計14基行った。 (7/28-2台、8/23-2台、9/4-2台、9/29-2台) ●河川公園の特性であるが、河川の水位上昇による冠水が3回あり、合計約10haの面積が水に浸かった。利用者のことを考え、上流から流れてきた瓦礫や汚泥を、職員で清掃した。瓦礫の量が多かった西日本豪雨の時には、業者に依頼し、早期の復旧に努めた。 ●基大な被害をもたらした台風21号の被害は、おおむね90本の高木が根から倒れるなどしました。早急に被害復旧を行い、10月25日には、園内の折れた幹・枝についての処分は終了しました。 ●非常時に使用する設備について、正常に稼働するかどうかの点検を7月と11月に行った。 ●防災訓練、研修を年度末までに行う予定 <p>【自己評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●“高温災害”という言葉もでた今年の猛暑の中、西日本豪雨の時の冠水の清掃を業者に依頼した。職員の体力も考慮した判断であったが、夏に体調を崩す職員も少なく、正しい判断であったと感じている。 ●日本列島に住んでいる限り、「想定外は起こりうる」ということを痛切に感じた1年であった。結果として、移動式トイレが浸水して流されることはなかったが、油断せず、早めの判断をしてトイレの引き上げを行いたい。 	A	<p>実施計画書・公園管理要領に定める内容に沿って適切に実施できている。</p> <p>○台風21号により高木がおおむね90本倒れたが、早急に復旧を行った。</p> <p>○台風接近時の移動式トイレの引き上げについて、一部不十分な点はあったが、府からの指示を受けて改善された。引き続き河川敷の公園であるという危機意識を持って管理されたい。</p>	A	<p>台風21号による倒木被害に対し、早急に復旧を行ったことは評価できるが、移動式トイレの引き上げに関して不備が見られたことを反省し、さらなる危機管理体制の充実に努められたい。</p>
(5) 府政策との整合	応募時の提案を実施できたか。	<p>【実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●園内清掃の一部を「エルチャレンジ」(大阪知的障害者雇用促進建物サービス事業協同組合)に依頼しています。週1回、園内の清掃業務を行っています。 ●大阪府により策定された「みどりの大阪推進計画事業」に協力し、7/21~8/4の期間、石川に住む生き物の水族館の展示をビジターセンターで行いました。 ●「大阪21世紀の新環境総合計画」において、施策の柱とされている「生物多様性の保全」の推進に向けての啓発活動として4月~10月に川での生き物観察会を9回、池干しでの生き物観察会を3回実施。 <p>【自己評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●今年度の事業計画に記載された内容は実施できた。来年度以降、アドブトリバーなどにも取り組んでいきたい。 	A	<p>実施計画書・公園管理要領に定める内容に沿って適切に実施できている。</p> <p>○園内清掃業務において、行政の福祉化に協力した。</p>	A	<p>園内清掃業務において、行政の福祉化に協力するなど、府の施策に協力し、提案通りの取組みを着実に実施し、適切な管理運営を行ったことは評価できる。</p> <p>引き続き、より良好な管理運営に努められたい</p>

評価項目	評価基準 (内容)	指定管理者の自己評価	評価	施設所管課の評価	評価	【石川河川公園】 評価委員会の指摘・提言
			(S~C)		(S~C)	
II さらなるサービスの向上に関する事項						
(1) 利用者満足度調査等	アンケート結果はどうであったか。 これを受けてより満足度を向上させるために、どのように取り組むか。	<p>【実績】 計400部を回収済み。全体的な満足度は、満足46%、やや満足44%であった。 満足度が低かったのは以下の通り。 ＜売店などサービス施設＞ “やや満足” 21% “やや不満” 22% “不満” 19%</p> <p>【自己評価】 ●「売店などのサービス施設」の項目では満足度が低かった。石川河川公園では園内で飲食物を購入できるのは堤内地である駒ヶ谷地区の自販機のみで、堤外地である他地区にはそういった施設が無いことが反映されていると思われる。河川公園という特性を鑑みて、固定の電源を必要としない販売方法なども検討していきたい。 ●「イベントの数と種類」、「ホームページやイベント案内」の2項目では「わからない」の回答が最も多く、回答者層の約半数が60歳以上を占めていることが背景にあると思われる。そのため今後は電子媒体以外のイベント案内にもより一層力を入れていきたい。また「あったらよいイベント」についてはフリーマーケットの回答が23.6%と高く、市町村をまたぐ河川という環境が人々の交流の場として求められているのではないかと考え、実現に向けて検討していきたい。ほかにも魚とりや虫取り、野鳥観察などの自然への関心・ニーズがあることも伺えるので、それらの需要にこたえられるイベントを拡充させていきたい。 ●「パークゴルフ場」についての設問に対しては、公園全体としてはパークゴルフ場自体の認知度が高くないということが推測されるので、今後は周知をより心掛けいきたい。 ●公園全体についての自由意見の項目では「日陰が欲しい」といった要望が多く、公園の特性から屋根付きの休憩所やベンチの需要が高いことが分かった。実現が可能か今後検討していきたい。</p>	A	公園の全般的な満足度は1.3の評価を得ている。(Ⅲ)サービス関係のHP関連では0.6と数字が低く創意工夫が求められる。	A	総合的な満足度は概ね良好であり、適切な維持管理が行われている。 ホームページやイベントの充実度が低いことから、コンテンツ充実等の更なる満足度向上に向け、引き続き適切な維持管理・運営管理に努められたい。
	前年度のアンケート結果に対して、より満足度を向上させるために、どのような取り組みを行ったか。	<p>【実績】 ●前年度までの指定管理者が行っていたアンケート結果を参考に、園内の除草の頻度や時期について利用者目線を意識して実施するよう心掛けた。 ●イベントの種類や数については「石川で魚とり」観察会を前年度よりも実施回数を増やした他、四つ手網や投網など違った道具も取り入れた魚とりの実施や駒ヶ谷地区の修景池での池干し観察会などで当公園の魅力を感じられるよう計画した。</p> <p>【自己評価】 ●除草などの管理状況については、前年度と同等の評価を得られていた。 ●イベントの種類や数については若干の増加が見られたが、より幅広い利用者層に対応したイベントを企画・実現させていきたい。</p>	A	前年度のアンケートによる除草回数の増加やイベントの充実は評価できる。	A	前年度に低い評価を受けた事項に対して、より良い公園に向けての作業内容の改善を行った点は評価できる。 引き続き適切な維持管理・運営管理に努められたい。
(2) その他創意工夫	提案した事項以外に行った業務があるか。	<p>【実績】 ●羽曳野市内の小学校教職員を対象に、自然体験学習を想定した教職員研修を実施。22名が参加。同時に、小学校が公園に求めるニーズや出前授業実施に向けてのアンケート調査を実施した。 ●出前授業の実施の前段階として、富田林市内の幼稚園で移動水族館を実施。低学年の児童でも楽しみながら自然環境に興味を持てるような体験型のプログラムを実施し、今後の実施に向けて情報収集を行った。 ●滋賀県草津市の狼川河川公園から当公園に、河川公園としての管理運営について視察したいと要望があり、当公園の特性やイベントなどの事業、台風などの災害への対応や問題点などを解説し、実際に園内を視察された。 ●夏休みシーズンに実施した手作り水族館イベントに併せて、夕暮れ時の水辺で豊かな時間を過ごしてもらうことを目的にキャンドルナイトカフェ・ナイトアクアリウムを実施。地域の寺社の廃ろうそくを再利用したキャンドルをメインに管理事務所・修景池付近に設置し、優雅な雰囲気演出。同時に地元高校生団体によるカフェブースを出展し、キャンドルやライトアップした水族館の雰囲気とともに楽しんでいただいた。</p> <p>【自己評価】 ●教職員研修では学校のカリキュラムとして公園を利用し、石川で生徒を連れて自然環境学習を行う上での注意点やどういったプログラムが可能かなどの点を踏まえて実施することができた。また教職員から小学校近辺の自然を利用したカリキュラムなどの意見交換も行うことができた。 ●小学校への出前授業について事業計画では指定管理3年目からを想定しているが、試験的に幼稚園を対象とした形で初年度から行うことができた。幼稚園でのプログラムの拡充や他の幼稚園での実施に向けて検討している。</p>	A	○教職員を対象に自然体験学習を想定した研修を実施。自然を利用したカリキュラムなどの意見交換を行い、自然環境に興味を持ってもらうために積極的な活動をしている。 ○事業計画記載の手作り水族館と合わせてキャンドルナイトカフェなど、新たな取り組みを実施した点は評価できる。	A	教職員を対象に自然体験学習を想定した高度な研修を実施した点、キャンドルナイトカフェなど、新たな取り組みを実施した点は評価できる。 引き続き、新たな取り組みを開発しながら来園者の満足度向上に努められたい。

評価項目	評価基準 (内容)	指定管理者の自己評価	評価	施設所管課の評価	評価	【石川河川公園】 評価委員会の指摘・提言
			(S~C)		(S~C)	
Ⅲ 適正な管理業務の遂行を図ることができる能力及び財政基盤に関する項目						
(1) 収支計画の内容、適格性及び実現の程度	収支は予定どおりか。支出超過、収入不足となっているか。支出計画に沿った支出配分がなされているか。	<p>【実績】</p> パークゴルフ場と駐車場の料金収入が、予想よりも大きく少ない。収入不足が見込まれる。今年、夏場の猛暑で来園者数が減った。とは言え、参考価格と大きな差があるのは、厳しい限りである。 <p>【自己評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●料金収入の減少は、以下のような、さまざまな原因が考えられる。 <ul style="list-style-type: none"> ・パークゴルフの常連客の高齢化。新規客の減少。人口減。 ・駒ヶ谷地区の魅力の減少。遊具が古くて少ない。楽しい遊具が少ない。バーベキューのブームの下火。 ・タイルの剥がれを放置したトイレが原因の客離れ。施設全体の老朽化。 ●このような、原因はあるが、それを上回る魅力を生み出して、料金収入を増やしていきたい。 ●年度末に向けて、経費縮減に努めて収支を改善していきたい。 	A	著しい収入予定や支出超過はないが、昨年度浸水被害で長期閉鎖をよぎなくされたパークゴルフの料金収入と今年度は同程度の料金収入であり、今後の創意工夫が求められる。	A	パークゴルフの収入が予想を下回る点は改善が求められるものの、その他はほぼ計画的な予算執行である。引き続き、適切な収支バランスの維持に努められたい。
(2) 安定的な運営が可能となる人的能力	管理体制表及び職員配置計画。(応募時に示した管理体制を構築したか。)	<p>【実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●提案通りの管理体制を実施した。 <p>【自己評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●繁忙期と閑散期で人員配置を工夫するなど、円滑に管理体制を構築できた。 	A	適切に人員が配置されている。	A	—
	必置技術者等の配置。(技術者を配置したか。)	<p>【実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●一級造園施工管理技士2名、一級造園技能士1名、公園管理運営士1名、ピオトープ管理士1名、危険物取扱者乙種4類1名を配置した。 ●電気主任技術者については、(一財)関西電気保安協会に外注し、点検並びに維持を行った。 <p>【自己評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●適切に資格者を配置している。 	A	適切に人員が配置されている。	A	—
	労働災害等未然防止のための管理運営。(外注・下請を含む職員の労働災害や維持管理業務に起因する来園者事故など公衆災害の発生はなかったか。また、従業員への安全教育・訓練の実施状況について確認。)	<p>【実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●事故事例について、朝礼・終礼で情報を共有。事故の起こりやすい場所や、毒毛虫が発生する場所については、注意を促した。 <p>【自己評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●来園者への公衆災害はなく、良好に管理できた。 	A	適切に管理運営が行われている。	A	労働災害管理上の問題が発生しておらず、今後も労働災害等を発生させることなく管理運営に努められたい。
(3) 安定的な運営が可能となる財政的基盤	法人等の経営状況。(経営状況に問題は無い。指定管理業務の継続に影響を与えないか。)	<p>【実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●提案のとおり <p>【自己評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●経営状態に大きな変化はなく問題はない。 	A	構成するグループに、キャッシュフローがマイナスや2期連続営業利益の赤字の法人がある。	B	2期連続で営業利益がマイナスかつ借入依存度が高い構成団体に注視する必要がある。